

# グローバリストが保守地盤を、致命的に汚染された COVID ワクチンで攻撃

——トップ科学者たちが確認

<https://www.infowars.com/posts/breaking-red-states-targeted-with-tainted-covid-vaccines-warns-former-science-adviser/>  
[.com/posts/sunday-live-globalists-attacking-red-states-with-deadly-tainted-covid-vaccines/](https://www.infowars.com/posts/sunday-live-globalists-attacking-red-states-with-deadly-tainted-covid-vaccines/)

The Alex Jones Show

January 23, 2022

⇒人望高い科学者、研究者、統計学者たちが、ある国際企業 Deep State が、Covid-19 と呼ばれる生物兵器で、地球人口を攻撃していることを確認した以上、我々は、大きな嘘がリアルタイムで崩壊しつつあり、人類は、これらの人殺しどもを、ニュルンベルグ裁判 2.0 の法廷へと引き出すことができることを知って、心を強くもつことができる。

⇒バイデンの政治的反対者たちが、Great Reset の一部として、人口削減のために一方的な生物戦争を行う者たちによって、標的にされている——この危機的な時期が何であるかを見つめ、これを共にすることによって、文明と、我々の子どもたちの未来そのものを、救おうではないか。

アレックス・ジョーンズが、「ワクチン有害事故報告システム」(VAERS) からのショッキングなデータを説明している。これは「高度に有毒な」種類の、実験的 COVID mRNA 注射が、保守党に導かれた（赤い）保守州で、不釣り合いに大量に配備されたことを暴露するもので、その結果として、（青い）民主党主導の州に比べ、注射による死者数が 2 倍近くになった。

エリートによって、赤い州が、致命的に汚染された COVID 注射によって標的にされたことを確認する、次の強力な Infowars 報告 をお読みいただきたい。

<https://www.infowars.com/posts/breaking-red-states-targeted-with-tainted-covid-vaccines-warns-former-science-adviser/>

## 緊急：赤い州が汚染 COVID ワクチンに狙われている——

元科学アドバイザー

Covid 注射についての VAERS データを調べていた研究者たちが、歴然とした政治戦争が、赤い州に対して仕掛けられていることを発見した。

Covid ワクチンの特定の製品群につながった有害反応を調べているとき、分析者たちは、高度に有毒のワクチンの一群が、保守党地盤に繋がっていることを発見した。

この独占的 Reese 報告は、グローバリストたちが、いかに赤い州に、恐ろしいワクチンの一群を配備し、これらの州の政治的反対者たちを罰し、Great Reset への道を開こうとしているかを説明している。

元ファイザー社副社長・科学主任のマイケル・イードン博士は、VAERS のデータ逆操作することによって、COVID ワクチンのある種類のもので、他のものより、はるかに致命的に恐ろしいかを発見した。 <https://howbadismybatch.com/>

もっと具体的に言えば、このワクチンの約 0.5% が、「高度に有毒」であり、入院や心身不全を引き起こし、注射から数日あるいは数週以内に、死ぬことがあることがわかった。

ただ、それらのほとんどは、害のないプラセボ（プラシーボ）であるようだ。

しかしデータは、それよりもっとゾツとするような事実を、明らかにしている：——それはファイザー、モデルナ、および Janssen による、害のない製品群と有毒な製品群の、統制された配備を行うもので、実験的なセッティングによって、ワクチンの効果を一般大衆に対してテストするためである。

<https://needtoknow.news/2021/12/scientist-identifies-toxic-batches-of-covid-vaccines-and-creates-how-bad-is-my-batch-app-2/>

このようなやり方による配備は、政府が、致命的なワクチン製品群を——赤い州のような——特定の人口分布域に差し向けることを可能にする。

実は、VAERS データは、青い州よりも赤い州において、ワクチンによる死者の割合が、はるかに大きかったことを明らかにしている。

研究者 Craig Paardekooper によると、この奇怪な不一致の理由は、赤い州が青い州の、倍量の恐ろしい薬量を与えられたからだという。 <https://howbad.info/>

これは、グローバリストによる古典的な社会的操作のテストであり、人々に対して、mRNA ワクチンの「最大許容投与量」を試し、同時に、バイデンの政治的反对者を殺しつくすためである。

## 「私は私の政府に騙されていた」:

ツイッターが、Covid ワクチンを受けたことを後悔する人々であふれる

<https://www.infowars.com/posts/i-was-lied-to-by-my-government-twitter-flooded-with-people-saying-they-regret-taking-covid-vaccine/>

Alan Salazar

January 24, 2022

⇒この公開広場で「ワクチンの後悔」を述べる、多数のユーザーのすべてが、実験的 mRNA 注射を受けなければよかったと言っている。

2021 年 7 月にまで遡るツイートが多くが、[DailyVeracity.com](https://www.dailyveracity.com) によって編集され、スクリーンショットと共に、ここに記録されている。しかし毎日々々、ますます多くの人々が、社会メディアで、彼らの後悔を告白し、なぜ再びワクチンを打つつもりがないのか、説明している。<https://www.dailyveracity.com/2022/01/23/shock-thousands-on-twitter-regret-getting-the-vaccine-side-effects-worse-than-covid/>

「私は 100%回復すると思っていた。しかし明らかに違った。ワクチンを受けたことを後悔するかって？ するよ。そんなことはないはずだ、などと思わないでくれ」と、あるツイッター・ユーザーは書き、ロックダウンの餌と鞭にはうんざりの様子を見せた。

「ワクチンを受けたことを後悔している。それは副作用がどうしてもなくなるからだ」と、別のユーザーは言った。

「もう駄目だ、私は地獄にいる」と、あるユーザーは恐ろしい有害作用を説明した。

「私はジョンソン&ジョンソンをやって、2日間起きられず、マラリアにかかったように感じた。ワクチンを後悔している」と、別のユーザー。

「ワクチンを受けたことを後悔している」と、多くの人々が、9月の終わりころにかけてツイートしている。

「ワクチンを受けたことを後悔している。もう少しちゃんと調べればよかった。いやはや」と、また一人の女性がツイッターで後悔している。

もう一人の人物は、ただそれを受ければ、ニューヨークでの生活が楽になると思って、ワクチンを受けたことを、自分は悔やんでいると書いている——「私は急激に変わることはないと思う。しかし、もし数年の間に面倒なことが起こったら、…アメリカは自分の立っている場所に崩れ落ちるだろう。それは絶対的な戦争だ。私はワクチンを打ったことを後悔しているが、私は、ニューヨークが馬鹿げているからそうなのだ。そうしなければ私は、自分の人生を生きていけないだろう。私はただ、自分の遺伝子が破壊されないことを祈っている。」

さらにもう一人は、人々の病状こそ、二度とワクチンを受けない理由だとして、こう言った——「ワオ、私は2度目のCovid注射を、月曜日に受け、それ以来、私は、頭痛と brain zaps や brain fog、極端な疲労、終わらない空腹、めまい、頭の圧迫感、暑すぎ感、その他の異常な症状が続いている。私はワクチンを受けたことを後悔している。もう一度、正常に戻りたいのだ！」

別の男性は、**7か月も続けて**、注射のために病気になっていると言った。

「私はワクチンを打ったことを、毎日、悔やんでいる」と、別の悩み苦しむユーザーがツイートした。「私は2度目の注射の後、ずっと病気だ。これで7か月になる。このワクチンが憎い。」

...

### 【訳者 Greatchain 注】

まずこの前半の、確認された事実をじっくり読んでいただきたい。これによって現在の世界的なワクチン操作が、意図された犯罪行為であり、ワクチンは生物兵器であることがわかる。そして、この戦争は歴然と、善と悪との戦争であって、徳川と豊臣、源氏と平家のようなものが戦っているのではない。それは、我々の子どもや孫を、墮落させ、殺すことが、よいか悪いかを問うているようなものである。選択の余地などない。

にもかかわらず、わが国の政府は、全くそのことを理解していないように見える。それとも彼ら全員がそれを知った上で、自他を滅ぼす墮落の道、つまり「利権」の道を選んでいるのだろうか。真相は知らない。しかし、これだけはっきりと事実が報道されているのに、それを知らないという事はあり得ない。思いつくだけでも、とうてい信じられないことが、いくつもある。「磁気帯びワクチン」「米政府によるイベルメクチンの禁止」「大量の死亡者の隠蔽」の話など、いかに我々の世界に「犯罪」が横行しているか、「悪」が支配しているかが、わかるはずである。それとも英語の情報が禁止されているのか？ つい最近では、アビガンの禁止がそこに入っている。このすべてが北朝鮮体制に非常によく似ている。

もっと遡るなら、わが国政府の行動で最もはずかしい思いをしたのは、一昨年の秋の叙勲と並んで行われた、ビル・ゲイツに対する「功労賞」授与である。これほどの無知はありえないから、これは「圧力」によるものとしか考えられない。しかし、わが国の受けるグローバル・エリートの「圧力」が、**現時点で**、それほど大きいものなのか？ これも私にはわからない。もし彼らの言うことを聞かなければ、わが国に原爆がもう一度、落とされるといような脅威が、現実的にあるなら、私は謝罪しなければならない。しかしそれはない。その前にロシアとの衝突があるだろう。そして彼らエリートは、「ワクチン戦術」がうまくいかないとわかったので、注意をロシアに向けたことは明らかである。わが国政府は、ロシアについてもエリートの宣伝を信じているらしい。

ロシアと言えば、かつて安倍首相が、当時のポロシェンコ・ウクライナ大統領に「仁義を切ってこい」と、おそらくエリートに強要されて、これを実行したことがある。今、同じようなことが、日本政府とバイデンとの間に起ころうとしている。あれから時代は明かに変わっている。「彼ら」は明らかに崩壊寸前であり、怯えている。ただ、「何をするかわからない」という恐ろしい状況は確実であり、そのことだけを念頭に置いて行動すればよいと思う。まともに付き合う必要はないだろう。

後半の証言集「私はワクチンを受けたことを後悔している――政府に騙されていた」については、これほど一斉に同じ声が届けられたということは、驚きである。ただ大量の死者の声だけは、ここにはないことを覚えておかななくてはならない。これをスクロールしてみれば、これがほとんど無限に続いていることがわかる。これもやはり「覚醒が一気に起こる」と言われていることの例であろう。ここで重要なことは、自分に特別の副作用が起こらなくても、「**政府に騙されていた**」という自覚が、一般民衆に共有されつつあることである。